

序

われわれ建設業にたずさわるものはもとよりですが、ひろく国民の多くが待望久しかった新宮殿が落成したこの秋に私共の所報第12号をお届けできるのは私の非常な喜びであります。

このよい秋を迎えた今年も、振り返ってみれば意外ともいうべき災害がありました。本年5月16日の十勝沖地震がその一つです。この地震の提供した大きな問題は、耐震設計をされたはずの中低層の鉄筋コンクリート造に多くの被害がみられたことでしょう。この原因や、対策に関しては日本建築学会で遠からずまとめられるでありませうが、当研究所でも当所なりに調査しましたので、本号には総合調査の一粗材を提供するという意味であえてその報告に多くの頁をさくことにしました。何等かのご参考にもなれば望外の幸と存じます。

1968年10月

清水建設研究所 所長

大 築 志 夫